

誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン

令和 7 年 5 月 1 日現在 江戸川区立大杉東小学校

全国学力・学習状況調査		
A・B層の割合		
年度	国語	算数
令和 8 年度の目標	55.5%	55.0%
令和 7 年度の目標	52.0%	50.0%
令和 6 年度の結果	47.0%	37.3%
令和 5 年度の結果	51.6%	47.0%

令和 6 年度江戸川区学力調査結果		
A・B層の割合		
学年	国語	算数
第 6 学年	55.6%	40.8%
第 5 学年	36.3%	34.9%
第 4 学年	39.7%	47.0%
第 3 学年	29.3%	32.8%

 ともに、生きる。 江戸川区	目標達成に向けた取組		
	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	- 江戸川区算数科授業スタンダードを基にした問題解決的な授業を展開する。 - 国語授業スタンダードを活用し、児童の問いをきっかけに学習目標を明確にして、学びを深める授業を展開する。 - 協働的に学びを深めていくために、一人1台端末や授業支援アプリを積極的に活用する。	- 毎週水曜日に朝学習の時間を設定し、よむYOMUワークシートや東京ベーシックドリルに取り組む。 - 東京ベーシックドリル診断テストを年間6回実施し、学習カルテに記録、活用することで基礎学力の定着を図る。	- 年間3回実施の江戸川っ子スタディウィークで学年×10分の徹底 - 児童の興味関心や学習状況に適した自主学習の実施。 - ドリルパークを活用した家庭学習の実施。
特に支援が必要な児童・生徒への手だて	- 学習の際にICTを活用したり、ヒントカードを提示したりすることで個別に支援し、課題に取り組めるようにする。 - めあて、振り返りを1時間や単元ごとに必ず行い、教師が認めることで、児童が自分の考えなどに自信もてるようにする。	- 各学期の診断テストの結果を踏まえ、個に応じた練習課題に取り組ませる。 - 学力C、D層や希望した児童を放課後学習教室につなげ、算数の基礎基本定着をサポートする。	- 過年度の学習内容や読書など、児童が無理なく進められる課題を提示し、学習に向かう姿勢を伸ばしていく。 - ドリルパークや東っ子検定などの取組を家庭と協力してすすめることで、できる喜びを感じ、粘り強く学習する習慣を身に付けられるようにする。
成果指標	全国学習状況調査・区学力調査「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」肯定的な回答80%以上	令和7年度江戸川区学力調査 正答率7割達成者70%以上	江戸川っ子スタディウィーク3学期 自分の目標達成者90%以上